MIMASAKA SARAYAMA KOFUN

美作・佐良山の古墳

岡山県津山市・佐良山古墳群が造られた地域を望む（北上空から）

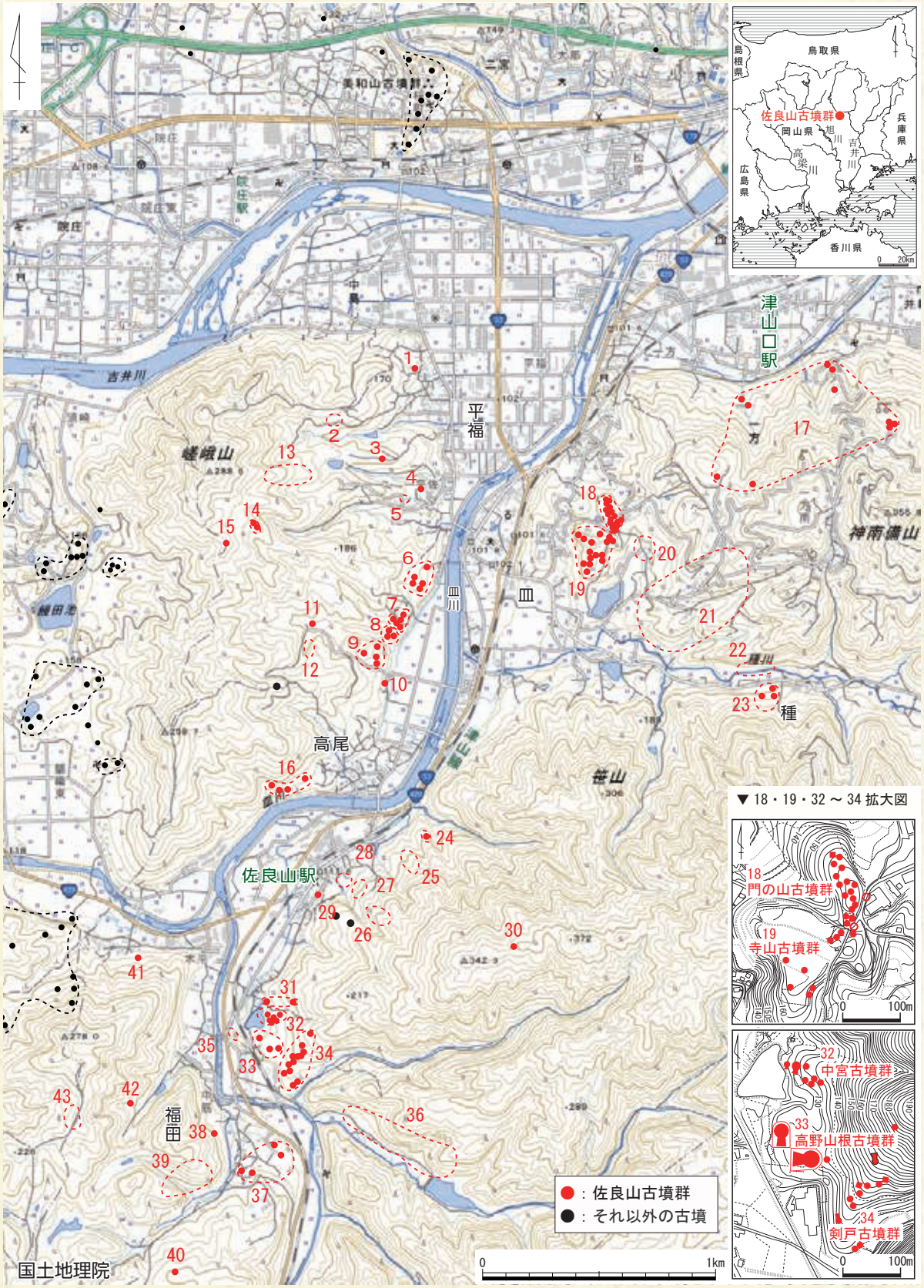
2023

岡山県古代吉備文化財センター

佐良山古墳群とは

岡山県津山市の佐良山地区には、170 基を超える古墳があります。これらは吉井川の支流である皿川両岸の各丘陵に複数の支群に分かれて築かれており、まとめて「佐良山古墳群」と呼ばれています。その多くが古墳時代後期（6 世紀から 7 世紀前半）に密集して築かれた小規模な古墳（群集墳）です。この古墳群では、昭和 20 年代に中宮 1 号墳などの発掘調査が行われ、古墳時代の墓制や「家父長的家族」の研究（文献 3）が行われたことで全国的に広く知られることとなりました。

1　片山古墳
2　中堂古墳群
3　平福向山古墳
4　平佐古墳
5　祇園畝古墳群
6　桑山古墳群
7　桑山南古墳群
8　細畝古墳群
9　正京茶畠古墳
　　弁慶岩古墳群
10　高尾北ヤシキ古墳
11　下山田上古墳
12　中山田古墳群
13　三つ塚古墳群
14　火の釜古墳群
15　高塚古墳
16　西の岡古墳群
17　一方北古墳群
18　門の山古墳群
19　寺山古墳群
20　煙硝庫古墳群
21　寺池東古墳群
22　カキ谷Ａ古墳群
23　カキ谷Ｂ古墳群
24　高尾ズリ谷古墳群
25　中曽根古墳群
26　三ツ塚古墳群
27　御笠美下古墳群
28　丸山古墳群
29　御笠美下大塚古墳
30　比久尼塚古墳
31　高尾中宮上古墳群
32　中宮古墳群
33　高野山根古墳群
34　剣戸古墳群
35　丸山古墳群
36　小屋谷古墳群
37　若林古墳群
38　ウノメ古墳
39　奥山田古墳群
40　高清水古墳
41　岡の屺古墳
42　奥の屺古墳
43　三つ塚古墳群



津山市佐良山地区周辺の古墳の分布（1/25,000）

門の山古墳群（津山市平福）地図No. 18

門の山古墳群は、神南備山から西に延びた丘陵端に立地し、寺山古墳群の北隣に位置します。18 基ある古墳のうち、多角形の墳形をもつ1号墳以外は、直径約 10m 前後で墳丘が低い円墳が大半を占めます。

埋葬施設は多様で、8・9・14・16 号墳は木棺、6号墳は箱式石棺、7・12 号墳は竪穴式石室です。

副葬品として、8号墳では須恵器、刀子、鉄鏃、9号墳では鉄刀や鉄鏃、14・16 号墳では須恵器や玉類（管玉）、6号墳では土師器や須恵器、7号墳で土師器、須恵器、刀子が出土しました。8・16 号墳が5世紀後葉、6号墳が6世紀前葉、7・12・14 号墳が6世紀中頃に築造されたと考えられます。

7 号墳 *

7 号墳の竪穴式石室 *

9 号墳の埋葬施設（木棺） *

16 号墳の出土遺物 *

祇園畝古墳群（津山市平福）地図No. 5

祇園畝古墳群は嵯峨山の東の丘陵裾に位置し、2 基の古墳（1・2 号墳）があります。

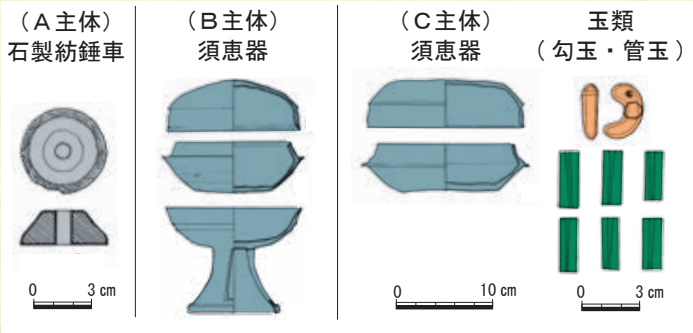
2 号墳は直径約7mの円墳で、石室内には須恵器、耳環（金属製の耳飾り）、玉類が副葬されました。6世紀末ごろに築造され、7 世紀前葉まで追葬されました。

祇園畝 2 号墳の陶棺 *

寺山古墳群（津山市皿）地図No. 19

寺山古墳群は神南備山の南西、門の山古墳群の南隣にあります。15基の小規模な円墳で構成されます。

埋葬施設は、大半が竪穴式石室で、6 号墳のみが横穴式石室です。6世紀前半に築かれた 1 号墳は、3 基の竪穴式石室があり、石製の紡錘車、須恵器、玉類が副葬されました。



寺山A 1 号墳出土遺物の図［文献 1 を改変］

桑山古墳群（くわやま）

（津山市平福・高尾）
地図No.６

桑山古墳群は、嵯峨山南東の標高約 130 mの丘陵尾根端に位置し、主に５基の古墳で構成されます。

横穴式石室をもつ１・２・５号墳はやや低所、竪穴式石室や箱式石棺をもつ３・４号墳は眺望（ちょうぼう）のよい高所に立地し、いずれも６世紀中頃に築かれました。

桑山古墳群の遠景

桑山１・２号墳の全景

◀１・２号墳は隣接して築造されました。

１号墳は直径約19ｍの円墳です。全長6.3ｍの横穴式石室は、羨道（せんどう）（通路）が遺体を納めた玄室（げんしつ）の片側に取りつき、玄室の片側が広くて袖部（そでぶ）がある片袖式（かたそでしき）の特徴をもっていました。

２号墳は直径約 13 ｍの円墳で、全長 3.6 ｍの横穴式石室があります。石室は、羨道が玄室の中央に取りつき、玄室の両側に袖部があって幅が広がる両袖式（りょうそでしき）です。

桑山２号墳の横穴式石室

▲２号墳の石室には床に礫や砂が丁寧に敷かれ、須恵器、素環頭大刀（そかんとうたち）、鉄鏃、馬具、刀子、耳環が副葬されました。

桑山３号墳の竪穴式石室の遺物出土状況

桑山３号墳の出土遺物

▲３号墳は直径約 9.5 mの円墳で、箱式石棺と木棺が並ぶように築かれました。箱式石棺では人骨が見つかり、小児が埋葬されたことが分かりました。

▲３号墳の箱式石棺には、須恵器、鹿角製の柄をもつ短刀、多くの鉄鏃、玉類が副葬されました。

桑山５号墳の横穴式石室の遺物出土状況

桑山５号墳の横穴式石室袖部の遺物出土状況

桑山５号墳出土の鈴付高杯
（Ｘ線透過画像）

▲中央の膨らみの内側には、鈴の丸があり、揺らすとカラカラと音が鳴ります。

▲５号墳は直径約 10.5m の円墳で、全長約 7m の片袖式の横穴式石室がありました。石室では須恵器、土師器、鉄刀、鉄鏃、馬具、玉類などの 300 点を超える豊富な副葬品があり、その多くが埋葬時に置かれた状態で見つかりました。なかでも、石室の入口付近で見つかった装飾須恵器や鈴付高杯（須恵器）は、葬送儀礼の様子を知るうえで注目されます。

桑山南古墳群（くわやまみなみ）

（津山市高尾）
地図No.７

桑山南古墳群は嵯峨山南東の標高約 120 mの丘陵尾根端に位置し、桑山古墳群と細畝古墳群の間にあります。

この古墳群は古墳５基と箱式石棺墓２基、土坑墓４基で構成されます。６世紀中頃には高いところに２・４・５号墳、やや低いところに箱式石棺と土坑墓が造られた後、６世紀末に１号墳、７世紀前半に３号墳が築かれました。

桑山南古墳群の全景

桑山南１号墳の墳丘断面

▲桑山南１号墳は直径約 14 mの円墳で、横穴式石室は片袖式で全長 6.5 mあります。

桑山南１号墳の横穴式石室の陶棺出土状況

▲石室に納められた２基の陶棺は、美作（みまさか）地域で最古段階に位置づけられます。

桑山南１号墳の石室奥壁遺物出土状況

▲石室内からは 70 個体を超える土師器や須恵器、馬具、鉄鏃、耳環、玉類などの豊富な副葬品が出土しました。

桑山南１号墳に追葬された陶棺出土の大刀

▲大刀の鍔（つば）には、銀象嵌（ぎんぞうがん）（細い溝を彫って銀の針金を埋め込む工芸技法）によって非常に細かい文様が施されています。

桑山南２号墳の竪穴式石室

▲２号墳は直径約９mの円墳です。全長約 2.1 m、幅 0.5 mの竪穴式石室があり、床面に円礫が丁寧に敷かれていました。石室内には須恵器、鉄鏃、刀子、鉄鐸（鉄製のベル）、玉類が副葬されました。

桑山南４号墳の竪穴式石室の遺物出土状況 *

▲直径約 10 mの円墳である４号墳には、全長 3.0 mの竪穴式石室があり、須恵器、馬具、鉄鏃、玉類が副葬されました。

桑山南３号墳の調査風景

▲３号墳は直径約 12 m、残存高約 4.5 mの円墳です。全長 6.3 mの横穴式石室は、羨道と玄室の幅が同じで袖部がない無袖式で、２基の陶棺が納められていました。また、仕切り石や鉄釘の存在から、 箱式石棺や木棺も納められたと考えられます。

桑山南３号墳の出土遺物

▲３号墳の石室内には土師器、須恵器、大刀や刀装具、鉄鏃、馬具、鉄鐸、耳環、玉類が副葬されました。

桑山南４号墳出土の皮袋形瓶（須恵器） *

▲須恵器の皮袋形瓶は、皮袋製の容器を模したもので、大形で精巧に作られた逸品です。

細畝古墳群（ほそうね）

（津山市高尾）
地図No. 8

細畝古墳群は嵯峨山南東の標高約 120 mの丘陵尾根端に位置し、桑山南古墳群と高尾北ヤシキ古墳の間にあります。

この古墳群は、円墳３基と箱式石棺２基で構成され、６世紀中葉に箱式石棺１基、６世紀末に３号墳と１号墳、７世紀前葉に２号墳が築かれ、各古墳では７世紀中頃まで追葬されました。

細畝古墳群の全景（北から）

細畝１号墳の横穴式石室の調査風景

▲１号墳は直径約 10 mの円墳で、無袖式の横穴式石室がありました。石室には板石を組合せた石棺や陶棺を納め、土師器、須恵器、鉄鏃、玉類が副葬されました。

矢羽根（やばね）のような文様▶
（陶棺の拡大）

細畝１号墳出土の陶棺

▲１号墳に納められた陶棺には、矢羽根のような文様が刻まれています。

細畝３号墳の横穴式石室の遺物出土状況

▲３号墳は直径約 12 mの円墳で、片袖式の横穴式石室が造られました。床面には円礫が敷かれていました。

細畝３号墳の出土遺物

▲石室には土師器、須恵器、馬具、金銅製の耳環、玉類などが副葬されました。

高尾北ヤシキ古墳（たかおきた）

（津山市高尾）
地図No. 10

高尾北ヤシキ古墳は嵯峨山南東の標高約 120 m の丘陵裾に立地し、細畝古墳群の南側に位置します。この古墳は、直径 13 mの円墳で、６世紀末に竪穴式石室が造られた後、横穴式石室が完成しました。横穴式石室では７世紀前葉まで追葬されました。

高尾北ヤシキ古墳の全景

横穴式石室の遺物出土状況

▲無袖式の横穴式石室には、陶棺が１基納められていました。

横穴式石室奥壁周辺の遺物出土状況

▲陶棺の周辺では、筒形土製品（つつがたどせいひん）、多様な副葬品が出土しました。

横穴式石室の副葬品

▲横穴式石室には、土師器、須恵器、刀装具、鉄鏃、馬具、玉類などが副葬されました。

高尾北ヤシキ古墳出土の筒形土製品

▲筒形土製品は、高さが約１mと大きく、内部は空洞で、円錐台の筒状になっています。この土製品は、渡来系文化との関わりがあるカマドの「煙突（えんとつ）」と考えられますが、実際に使用された痕跡がありません。岡山県内では初めて例で、古墳からの出土は全国的にも希少です。

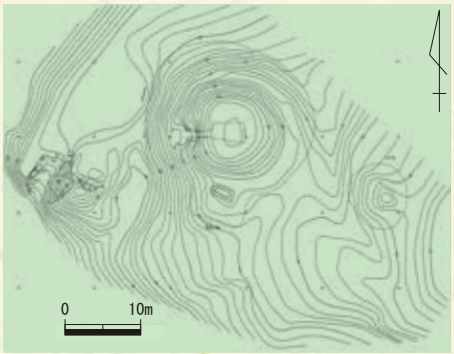
中宮古墳群［市指定史跡］

（津山市福田）
地図No. 32

中宮古墳群は笹山の南西、標高約 130 mの丘陵端に位置し、高野山根古墳群の北隣にあります。この古墳群は２基の帆立貝形の古墳（1・2 号墳）と 10 基の円墳があります。

中宮１号墳の近景 *

◀１号墳は６世紀中頃に築かれた帆立貝形の古墳で、全長約 23m（後円部約 18.6m、前方部 4.8m）、後円部の高さは約５m あります。埋葬施設は、片袖式の横穴式石室と竪穴式石室があります。

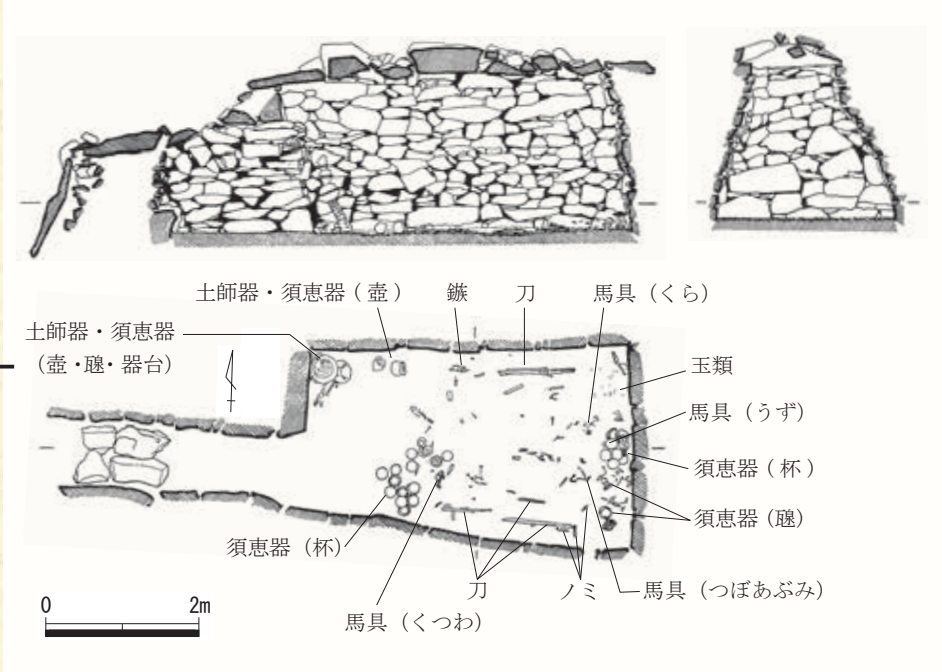


中宮１号墳周辺の測量図（1/1,000）

［文献２を改変］

石室袖部に置かれた土器（置き方は復元）*

▲石室袖部では、器台の上に大小の壺や瓿をのせた土器が置かれており、葬送儀礼の様子を知ることができます。



中宮１号墳の横穴式石室実測図（1/100）［文献３を改変］

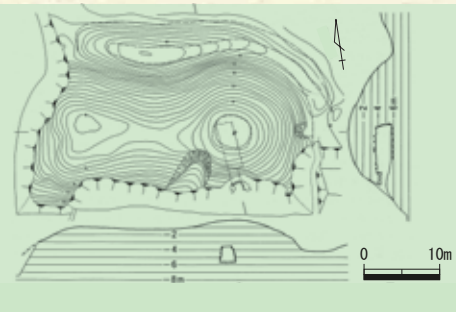
▲横穴式石室の床には礫が敷かれ、３体の埋葬とともに、土師器、須恵器、鉄刀、鉄製工具、多量の鉄鏃、多彩な馬具、玉類が副葬されました。

高野山根古墳群［市指定史跡］

（津山市福田）
地図No. 33

高野山根古墳群は笹山の南西、中宮古墳群の南隣にあります。佐良山古墳群のなかで最大の前方後円墳２基（1・2号墳）と円墳１基、消滅した４基で構成されます。

２号墳は全長約 37m の前方後円墳で、全長 9.5m の横穴式石室があり、６世紀後葉に築造された可能性があります。



高野山根２号墳の墳丘測量図（1/1,000）

［文献４を改変］

高野山根２号墳の横穴式石室 *

剣戸（けんど）古墳群［市指定史跡］

（津山市福田）
地図No. 34

剣戸古墳群は笹山の南西、標高約 150 mの丘陵尾根に位置し、高野山根古墳群の南東隣にあります。この古墳群は 14 基の古墳で構成されます。

12 号墳は全長約 14.5 mの前方後円墳、３号墳を除く他の古墳は直径 10 m前後の円墳とみられます。1・6・7・12～14 号墳（剣戸塚東塚）では横穴式石室が確認されており、主に６世紀に築かれた可能性があります。このうち、13 号墳（剣戸塚西塚）は全長 9.7 mの無袖式の横穴式石室で、陶棺が納められたようです。

剣戸 13 号墳（剣戸塚西塚）・14 号墳（剣戸塚東塚）の遠景 *

カキ谷（たに）Ｂ古墳群

（津山市種）
地図No. 23

カキ谷Ｂ古墳群は種川（たねがわ）の南、標高約 140 mの狭い谷奥の北向きの斜面に位置し、３基の円墳があります。

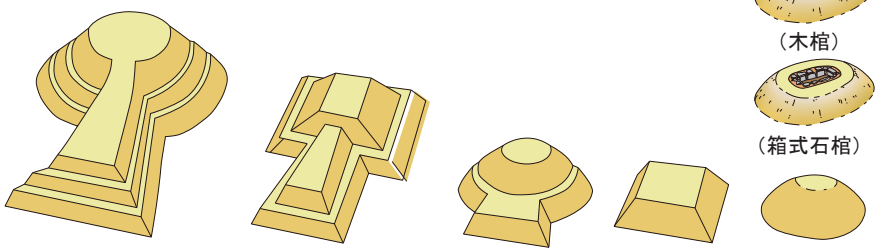
１号墳の横穴式石室

▲１号墳は直径 11m の円墳で、無袖式の横穴式石室は全長 8.8 mありました。６世紀後葉に築造され、７世紀後葉まで追葬されたと考えられています。

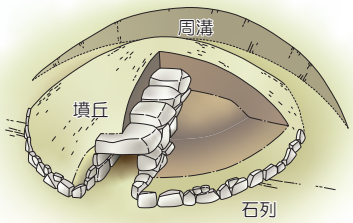
１号墳の横穴式石室の遺物出土状況

▲石室内には木棺が奥壁に納められた後、南の陶棺、箱式石棺、北の陶棺の順で追葬されました。副葬品には、土師器、須恵器、耳環、鉄刀、鉄鏃、刀子、摘鎌（つみがま）、石製紡錘車があります。

古墳のかたち



横穴式石室の古墳（円墳）



佐良山古墳群の特徴

佐良山古墳群は、古墳時代後期（６世紀から７世紀前半）を中心に造られた美作地域を代表する群集墳です。このうち、発掘調査や測量調査された古墳は、次の①～⑤のような段階をたどると考えられます。

①【５世紀後半】門の山８・16 号墳が築かれ、佐良山古墳群の造営が始まった可能性がある。
②【６世紀前半】門の山・寺山古墳群で、竪穴式石室や木棺、箱式石棺をもつ小規模古墳が数多く造られる。
③【６世紀中頃】中宮・桑山古墳群で、美作地域のなかでも横穴式石室がいち早く導入される。
　　高野山根２号墳や中宮１号墳は、前方後円墳や帆立貝形古墳で規模が大きく、首長墳と考えられる。
④【６世紀後半】桑山南・細畝古墳群などで横穴式石室をもつ小規模な古墳が各尾根に密集して造られる。
⑤【６世紀末～７世紀】丘陵裾や谷部に古墳が築かれたほか、多くの古墳では７世紀前半まで追葬が行われた。

副葬品のなかでは、豪壮な大刀や馬具、鉄鐸や筒形土製品などの対外交流を示す渡来系遺物、装飾須恵器や鈴付高杯などの特殊な須恵器、多彩な玉類などが注目されます。このほか、全国的にみても陶棺が集中して分布する美作地域のなかでも、佐良山古墳群では土師質の陶棺を納めた古墳が数多く見られます。

佐良山古墳群の移り変わり

古墳時代	西暦	岡山県の主な古墳	佐良山古墳群（津山市）【竪穴式石室】	【箱式石棺・［木棺］】	【横穴式石室】	主なできごと
前期	4世紀	美和山古墳群（津山市） 奥の前１号墳（津山市） 花光寺山古墳（瀬戸内市）	棺の周りに石を積みあげた石室	板状の石や板を長方形の箱形に組んだ棺	遺骸を納める玄室から横に通路（羨道）がある石室	
中期	5世紀	鶴山丸山古墳（備前市） 金蔵山古墳（岡山市） 田邑丸山１号墳（津山市）		（箱式石棺）		九州で横穴式石室の築造がはじまる
		三成４号墳（津山市） 月の輪古墳（美咲町） 造山古墳（岡山市）			玄室 袖石 羨道 閉塞石	古市・百舌鳥古墳群が造られる
		千足古墳（岡山市） 作山古墳（総社市）		（木棺）		
		両宮山古墳（赤磐市） 宿寺山古墳（総社市）				畿内で横穴式石室の築造がはじまる
		天狗山古墳（倉敷市） 十六夜山古墳（津山市）		［門の山８・16号墳］		
後期	6世紀	六ツ塚古墳群（津山市） 三輪山６号墳（総社市）	寺山Ａ１号墳－Ｂ	門の山６号墳		507年　継体天皇が即位 527年　筑紫国造磐井の乱がおこる
		二万大塚古墳（倉敷市） 四つ塚１号墳（真庭市） 穴が迩古墳（美作市）	門の山７・12号墳 寺山Ａ１号墳－Ｃ 寺山Ａ３号墳 中宮１号墳 桑山４号墳 桑山南２・４・５号墳	［門の山14号墳］ 桑山３号墳－１ ［桑山３号墳－２］	中宮１号墳 桑山１・２号墳 桑山５号墳 高野山根２号墳	西日本に横穴式石室が普及する 538年　仏教が伝来する（日本書紀では552年） 539年　欽明天皇が即位（531年説もあり）
		王墓山古墳（倉敷市） こうもり塚古墳（総社市） 万燈山古墳（津山市）			細畝３号墳 剣戸12号墳 カキ谷Ｂ古墳群１号墳	588年　蘇我馬子が法興寺（飛鳥寺）を建立
		牟佐大塚古墳（岡山市） 箭田大塚古墳（倉敷市）	高尾北ヤシキ古墳		桑山南１号墳 細畝１・２号墳 高尾北ヤシキ古墳 祇園畝２号墳	592年　推古天皇が即位 593年　聖徳太子が摂政となる 600年　遣隋使の派遣がはじまる
（飛鳥）	7世紀	唐人塚古墳（岡山市） 定東塚・西塚古墳（真庭市） 定北古墳（真庭市）			桑山南３号墳	618年　中国で隋が滅亡し、唐がおこる 630年　遣唐使の派遣がはじまる 645年　乙巳の変（大化の改新）がおこる
		大谷１号墳（真庭市）				663年　白村江の戦い

【参考文献・図出典】
（１）河本清「美作津山市寺山Ａ１号墳」『古代吉備』第６集　古代吉備研究会　1969
（２）津山市『新修津山市史』資料編「考古」 2020
（３）近藤義郎編　『佐良山古墳群の研究』津山市　1952
（４）内山敏行・大谷晃二・田中弘志「佐良山古墳群高野山根２号墳について」『古代吉備』第 13 集　古代吉備研究会 1991

【写真提供】
＊の写真は津山市提供

【編集・発行】岡山県古代吉備文化財センター
【住所】701-0136 岡山市北区西花尻 1325-3
【電話】086-293-3211　　【FAX】086-293-0142
古代吉備文化財センターHP はこちら！
令和５年（２０２３年）２月発行